

東京病院ニュース

第82号



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~tokyo/>

令和3年 新年を迎えて

国立病院機構東京病院院長 當間 重人

新年、明けましておめでとうございます。

とは言いまして、実際には新型コロナウイルス感染症の蔓延化あるいは拡大など、めでたくない状況が続いています。他国で承認されたワクチンに関しては、審査が開始されたばかりであり日本における接種開始はまだ先です。その前に結局大きな第3波が来てしまいました。各医療施設は、行政や他医療機関と連携協力しながら対応体制を常に見直さなければならない状況にあります。本原稿を書いている令和3年1月4日現在、日本政府は「緊急事態宣言」の再発出を検討し始めています。最終的な具体的要請範囲/内容については様々な検討が必要になるのですが、まずは、「政府自治体からの要請と補償」「感染予防対策」「ワクチン」による十分な収束を期待したいと思います。そしてその間に有効な治療法が見いだせれば、さらに安心できることになります。

さて、今年の干支は「辛丑（かのと・うし）」です。干支の後半部分（十二支）にある「丑」は、「発芽直前の芽が種子の硬い殻を破ろうとしている状態で、命の息吹を表している。種の中には今にもはち切れそうなくらい生命エネルギーが充満している状態」を示すのだそうです。そして来年（令和4年）の十二支は「寅」であり、いよいよ「芽が出て根や茎が伸びる」年となります。このように記述しますと、「今年より来年の方が良い年」というように取られてしまうかも知れませんが、植物の生命循環を表す十二支は、いずれも経なければならない重要な時期（過程）であります。

東京病院は、今年も患者さんにとってより快適で充実した医療を受けることができる病院づくり、また職員全員にとって気持ちよく楽しく働ける職場環境づくりに努めて参ります。



2021年（令和3年）1月

連携医の方を紹介します

東京病院では、他医療機関と連携することにより患者さんの症状等に応じた医療を行うことができるように、地域医療連携体制を構築しております。

黒田内科クリニック

黒田 克也 先生



【診療科目】 内科、脳神経内科、アレルギー科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:50~12:00	○	○	△	○	○	○	△
15:20~18:00	○	○	△	○	○	△	△

【休診日】 水曜・土曜午後・日曜・祝日

【備考】 臨時休診あり

【ご挨拶】

当院は平成14年に開業し26年の移転を機に、これからは医療と介護の連携が大切になると考え、デイサービスを併設しております。

脳神経内科を標榜していますが、高血圧症・脂質異常症・糖尿病といった生活習慣病に加え、一般内科診療に従事しております。

東村山市医師会会長として、東京病院をはじめとする北多摩北部医療圏域の病院との連携を密にして、地域医療に貢献していきたいと思っております。何卒よろしく申し上げます。



所在地	〒189-0003 東京都東村山市久米川町3-32-1 リリーガーデン1F
電話番号	042-398-7001
アクセス	西武国分寺線 東村山駅下車 徒歩15分 銀河鉄道バス スポーツセンター北 徒歩1分 無料駐車場あり(10台)

「新型コロナウイルス感染症～ワクチンがよいよ日本でも～」

感染症科部長 永井 英明

新型コロナウイルス感染症は、わが国では2020年1月15日に第1例が報告されて以降、第一波、第二波と流行の波があり、今や第三波に突入しており収まる気配がありません。対策を緩めると患者数が増加するという厄介な状況になっており、1人1人の感染対策意識の維持継続が必要です。

このような状況で、最も期待されているのがワクチンです。すでに英国や米国ではファイザーのワクチン接種が始まっています。わが国はファイザー、モデルナ、アストラゼネカの3社と契約し、ワクチンの供給を受けることになっています。

従来のワクチンはウイルスそのものの病原性を弱めた生ワクチンや、ウイルスの一部を分離精製した不活化ワクチンが主流でした。しかし、新型コロナウイルスに対するワクチンでは今までにない種類のものが登場しています。

ファイザーとモデルナのワクチンはウイルスの表面のとげ（スパイク）の蛋白遺伝子情報を持ったmRNAです。これを接種するとmRNAはヒトの体内で細胞内に入り、細胞にスパイクタンパクを作らせます。そのタンパクに対して抗体ができるのです。

アストラゼネカのワクチンはウイルスベクターワクチンです。ベクターは運び屋という意味で、アデノウイルスなどの感染力のあるウイルスを運び屋にするわけです。このウイルスに新型コロナウイルスのスパイクタンパクの遺伝子を組み込んでヒトの細胞に感染させると、遺伝子情報からタンパク質が合成され、免疫応答が起こります。

いずれのワクチンも有効性と安全性が確認されたものが市場に出てきますが、今まで国内で使用したことの無い仕組みのワクチンですので、心配される人が多いでしょう。

日本ではワクチンの副反応に関する問題が大きく取り上げられることが多く、そのためワクチン接種が進まないことがしばしば見受けられます。しかし、まず考えなければならないのは、なぜワクチンを接種するかということです。ワクチンは感染症を予防し、蔓延を防ぎ、個人と社会を守るためのものであり、今まで大きな効果を社会にもたらしてきました。ワクチンにより天然痘は撲滅されましたし、麻疹の死亡者数は数千人～2万人/年から10～20人/年に、百日咳の死亡者数は10,000～17,000人/年から0～5人/年に減少し、重篤な副反応はきわめてまれです。

副反応のないワクチンはありません。現在のワクチンは臨床試験で副反応については大きな問題がなかったものであり、ワクチン接種の効果と副反応などのリスクを天秤にかけて、効果が大きいものが世の中に出てきています。

しかし、臨床試験のときよりも多くの人々に接種した場合、新たな副反応が出てくるかもしれません。そのときは因果関係を早急に調査して公表するという姿勢が必要です。メディアはしばしば「ワクチン接種後に〇〇発症」と因果関係がまだ明確でない時期に因果関係があると受け取られるような報道をすることがあります。報道は一步間違えると接種を進めるべきワクチン接種をストップさせてしまいます。慎重な検討と発表の仕方が求められます。

国は、ワクチン接種を開始するに当たり、十分な情報を提供して国民の理解を得ることが必要であり、万一副反応が認められた場合の対応についても示しておく必要があります。接種する側とされる側の双方向のコミュニケーションが重要です。

ただ、ワクチン接種が始まったら直ちに患者が減るわけではなく、相当数の人々（約60%と言われています）が接種を受けないと患者数は減らないでしょう。その間はこれまでの感染対策を続けなければならないことは言うまでもありません。マスクの着用、手指衛生、三密をさける、換気をする、ソーシャルディスタンスを保つ、などは続けましょう。

シリーズ診断と治療 ▶ お薬の影響はお口にも出るのでご注意を！

歯科 井関 史子

東京病院の歯科では、虫歯治療・入れ歯作製・抜歯などの一般的な歯科治療だけではなく、抗がん剤治療中の患者さん、ステロイド投与中の患者さん、骨粗しょう症のお薬を使っている患者さん、などのお口の管理をしています。お薬には大なり小なり副作用というものが存在しますが、お口にもお薬の影響は出てきます。お口は会話や食事など日常生活に欠かせない部位ため、そこが障害されるととても辛い時間を過ごすことになってしまいます。お口の働きがお薬の影響で障害されることが無いよう、もし障害が出てでもできる限り重症化・長期化しないよう、管理していくことが大切です。そのために最も大切なことは、口腔衛生状態を良く保つことです。

今回は、お口に生じるお薬の影響の中でも代表的な2疾患を紹介します。

<口腔カンジダ症>

ステロイドを投与されている方にしばしば発症します。体が感染に弱い状況になることが原因のため、免疫抑制剤を併用している方や、抗がん剤治療中の方にも生じます。自覚症状はざらつき・ヒリヒリした疼痛・口やのどの違和感が多く、口の中にはまだらな白苔・白斑が付着して一部には粘膜発赤も認めます。口角が切れたり、口腔内潰瘍を伴うこともあります。感染予防がとても重要なため、日ごろから歯磨きを丁寧に行うこと何よりも大切です。

なお、易感染状態では、カンジダ以外にヘルペスなどウィルス感染を起こしたり、もともと持っている歯周炎が悪化（急性化）して痛み、歯肉が腫れたり、膿が出ることもあります。

<顎骨壊死>

骨粗しょう症やがんの骨転移などに対して使われるお薬を使用していると顎骨壊死を生ずることがあります。骨粗しょう症薬の中でもビスフォスフォネート製剤と呼ばれるお薬が該当します。いくつかの報告がありますが、内服薬の場合は、「10万人に1人程度」と言われており、頻度は低いかと思えます。ただ、お薬の使用期間が長いほど（4年以上）リスクが上がり、また、がんの骨転移に対してお薬が使用されている場合はさらに顎骨壊死の発生率が上がると言われています。

症状は、歯肉の腫脹や疼痛から始まり、進行すると歯が抜けたり骨が露出したり、顔の外側に排膿が持続することもあります。さらには顎骨の骨折やあごの麻痺が起きることもあります。顎骨壊死は感染が引き金となって発症・増悪するため、口腔内をきれいに保っておくことがとても重要です。

お薬を色々と使用されている方こそ、是非とも口腔内に目を向けてください。会話や食事などの日常生活が順調に過ごせるよう日頃からお口の中をきれいに保ち、またかかりつけ歯科をもって定期的にチェックをしてもらいましょう。

結核について (27)

呼吸器内科医長 山根 章

前回も、結核の発病予防（＝潜在性結核感染症治療）についてお話ししました。

要約すると、

- ① 結核発病予防のためにイソニアジド（INH）を内服することが多いが、強い副作用が起こった場合にはINH内服をあきらめざるを得ない。
- ② INH内服をあきらめた場合には、リファンピシン（RFP）の使用を検討する。RFPは必要な内服期間が短いことや、肝障害が少ないと思われることなどの利点も多い。
- ③ しかし、RFPは結核治療において最も大切な薬であるので、発病予防のために単剤で使った場合に薬剤耐性菌が出現することが懸念される。

ということでした。今回も引き続いて潜在性結核感染症治療について考えてみたいと思います。

お話しが、だんだんとややこしくなってきたことをおわびします。しかし、大切なことと思いますのでもう少しこの話題を続けさせていただきます。

RFPで発病予防（＝潜在性結核感染症治療）を行った場合には前回お話ししましたように、この大切な薬剤に対する耐性菌が出現してしまう恐れがあるのではないかと懸念されます。RFP耐性菌は治療が困難であることがわかっています。最近ではRFP耐性結核の治療期間を短縮する試みもなされてきていますが、一般的に行われている治療では1年半以上の治療期間が必要です。

それでは、実際にRFPによる潜在性結核治療後にRFP耐性菌が出現することがあるのでしょうか。このことについてはまだはっきりとしたことはわかっていません。しかし、INHによる潜在性結核感染症治療後にINH耐性菌が出現したという報告は少なからず存在しますので、RFP耐性菌も出現することはあるかもしれません。

数年前に潜在性結核感染症治療の全国的な調査が行われましたが、その報告によると、INH内服前にCT検査を受けていなかった例の中にINH耐性菌が出現したのが見られたということです。このような例ではINHによる潜在性結核感染症治療開始の時点で、既に結核症が存在していたのにCT検査をしなかったために見落とされていたという可能性も考えられます。つまり、すでに発病した結核があるのにINHを単剤で使ったために耐性になってしまったのかもしれない。

何度も繰り返しますが、RFP耐性菌を作ってはいけませんので、RFP単剤で潜在性結核感染症治療を行う場合には、すでに結核を発病していないことを確認しなければなりません。そのためには是非CT検査を行うことが勧められると思います。

潜在性結核感染症治療前のCT検査については、放射線被曝の問題もあるので慎重な意見ありますが、当院ではこれまではほとんど全例に行っています。また、全例行うことには抵抗がある施設においても、RFP使用を検討している場合には必ず行った方がよいと思っています。

RFP単剤内服には、このように耐性菌出現に対する懸念が存在していますが、これを解決する手段としては、複数薬剤の使用が考えられます。特に、RFPとINHを併用する方法には希望があると思います。この続きは次回お話しいたします。

1月の季節レシピご紹介

栄養管理室長 中野 美樹

春の七草とは1月7日におかゆとして食される7つの植物をさします。

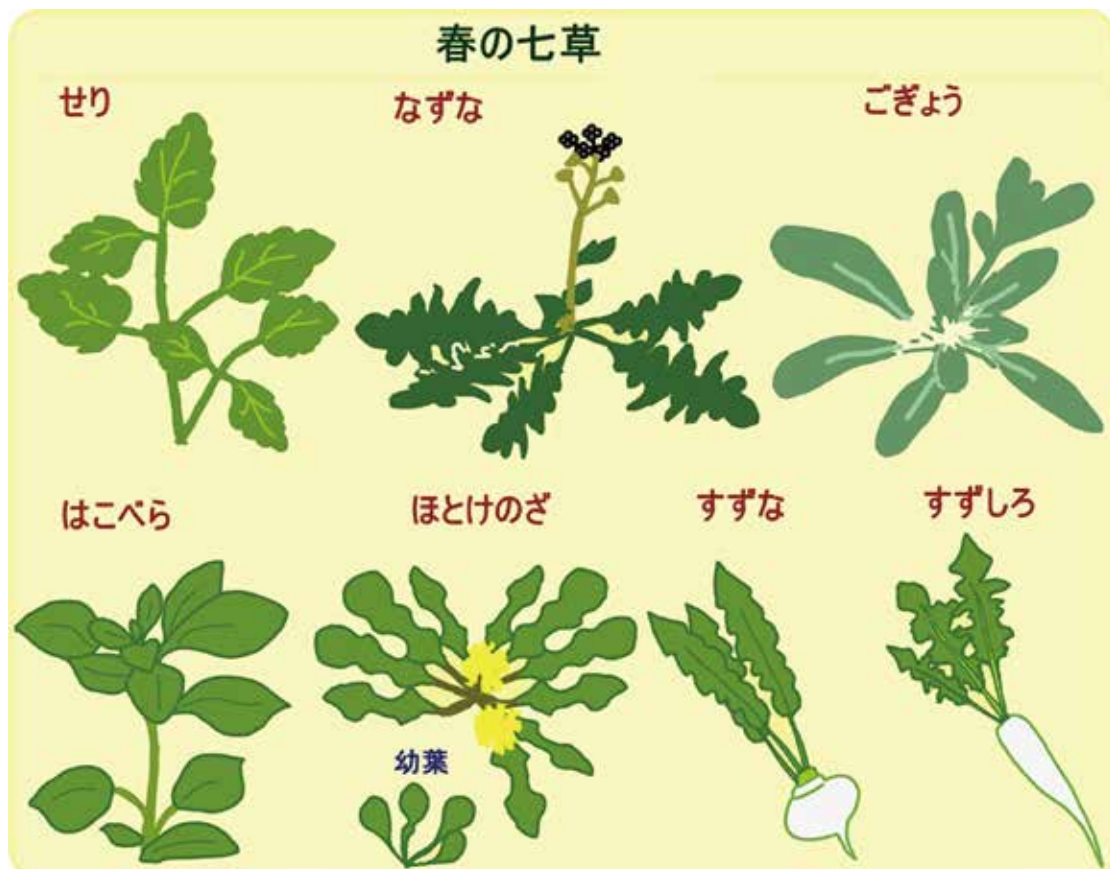
この風習は、奈良時代に中国から伝わりました。当時、日本ではお正月に若菜を摘んで食べる「若菜摘み」という風習がありました。

平安時代の初期に光孝天皇がまだ親王だった頃、人に「若菜」を贈るのに添えた歌だと「古今和歌集」にあります。「君がため 春の野に出でて 若菜つむ わか衣手に 雪は降りつつ」現代語訳にすると、「あなたのために春の野原に出て若菜を摘んでいると、春だというのに着物の袖に雪が降りかかってきた」。この歌は百人一首にも入っています。



宮中では「若菜の節会（せちえ）」として新年の1月7日に七種の若菜を食して長寿を祈りました。野菜が入ったお粥を食べることで邪気を払うというものです。

なずな：ぺんぺん草、ごぎょう：母子草、すずな：かぶ、すずしろ：大根、ほとけのざ：キク科の草をさします。





独立行政法人 国立病院機構東京病院 出前講座のご案内

東京病院では、地域の方々との交流、健康づくりのお手伝いの一助として、当院職員による「出前講座」をご用意いたしました。皆様の地域に向向いて、専門的な内容を分かりやすくお話いたします。また、地域の皆様との交流を通じ、当院への理解を深めていただけるような講座になっております。まずはお気軽にお電話ください。

番号	講座名	講師
1	たばこの害について	副院長 松井弘稔
2	PM2.5はどれほど危険か	副院長 松井弘稔
3	いびきを放置するのは危険？～睡眠時無呼吸の話～	副院長 松井弘稔
4	増えている非結核性抗酸菌症	感染症科部長 永井英明
5	結核は過去の病気ではありません！	感染症科部長 永井英明
6	大人のワクチンについて	感染症科部長 永井英明
7	こんな時は脳神経内科を受診してください（脳神経内科が診療する疾患について）	脳神経内科医長 小宮正
8	脳卒中になったら、ならないために…	脳神経内科医長 小宮正
9	認知症の予防と治療について	脳神経内科医長 小宮正
10	パーキンソン病の治療の進歩	脳神経内科医長 小宮正
11	「お茶でむせる」は要注意！～飲みこみの障害とその対策について	リハビリテーション科医長 伊藤郁乃
12	感染症から身を守ろう！～今日からできる正しい手洗い～	感染管理認定看護師 松本優子
13	抗がん剤と副作用	がん薬物療法認定薬剤師 植木大介
14	ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは	副薬剤部長 齋藤敏樹
15	早期からの緩和ケアについて	緩和ケア内科医長 池田みき
16	もしバナゲーム(もしものときの話し合い)～命の危険が迫っている時、あなたは何を大切に生きていますか？	緩和ケア認定看護師 村山朋美
17	生活習慣病の食事について	栄養管理室長 中野美樹
18	在宅療養の食事について	栄養管理室長 中野美樹

○開催日時・場所

開催日時は、原則平日の午前9時から午後5時の間で、1時間程度といたします。
会場のご用意は、主催団体側にてお願いいたします。

○申し込みができる団体

町内会、自治会、老人会、市民サークルなどの地域団体、企業、学校などで、
当日概ね20人以上の参加が見込まれる団体です。

○申込方法（☎042-491-2111）

希望日の概ね2週間前までに、東京病院経営企画室までお電話で希望日時と講座名を
お伝えください。日程調整を行い、当院担当者よりご連絡を申し上げます。

○その他

講演料は無料となりますが、講師の開催場所への移動に関しての交通費等は、
主催団体側にてお願いしております。

○お問い合わせ 東京病院経営企画室 TEL042-491-2111



▶ 東京病院からのお知らせ ◀

当院はご利用いただいている皆さまの安心と安全を確保するため、正面玄関出入口の開錠時間を下記のとおり設定いたしました。皆さまにはご不便をおかけしますが、何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。

〈開錠時間〉 8:00~20:00

また、当院では入館する全ての方に、「マスクの着用」「入口での検温の実施」「手指消毒」のご協力をお願いしております。新型コロナウイルス等の感染防止のため引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

診療科目

- 内科
- 脳神経内科
- 呼吸器内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- アレルギー科
- リウマチ科
- 外科
- 消化器外科
- 整形外科
- 呼吸器外科
- 泌尿器科
- 眼科
- 耳鼻いんこう科
- リハビリテーション科
- 放射線科
- 麻酔科
- 緩和ケア内科
- 感染症内科
- 病理診断科
- 歯科

受付時間：初診 8:30~14:00

再診 8:00~11:00

(科によって、診療を行っていない曜日、時間があります)

予約センター 042-491-2181

(受付時間平日8:30~15:00まで)

専門外来案内

専門外来名	診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください
禁煙 (予約制)	火(午後)	タバコがどうしてもやめられない方。 (当院の禁煙外来は、平成20年1月より保険適用となりました。)
喀血 (予約制)	火 (午後2時~)	咳をともなって気道・肺から出血する状態を喀血といいます。肺アスペルギルス症、気管支拡張症、非結核性抗酸菌症、肺結核、肺癌の患者さんにおこります。ご相談ください。
間質性肺炎 (予約制)	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。 治療が難しく、膠原病に合併する場合もあります。
非結核性抗酸菌症	水(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。 結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。
いびき COPD (睡眠時無呼吸症候群の検査)	月~金(午前)	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを希望の方。
肺がんセカンド オピニオン(予約制)	木(午後)	肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。 [30分まで11,000円、1時間まで22,000円]
結核・非結核性抗酸菌症・ 肺真菌症 セカンドオピニオン(予約制)	火(午後)	結核・非結核性抗酸菌症・肺真菌症についてセカンドオピニオンを希望される方。 [30分まで11,000円、1時間まで22,000円]
ものわすれ外来 (予約制)	水(午後)、 木(第1・3週のみ)	最近ものわすれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。 (あらかじめ脳神経内科を受診してください。)
高次脳機能外来 (予約制)	木 (第1・3週のみ)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など。 (あらかじめ脳神経内科を受診してください。)
地域リハビリ相談	木(午前)	連携医の先生方からかかりつけの患者さんで、運動・言語・嚥下機能に問題があり、 リハビリテーションをご希望の方。(かかりつけ医の情報提供書が必要です。)
白内障外来 (予約制)	水 (午後1時30分~ 午後3時30分)	白内障の診断、手術の相談、説明など、これから白内障手術を検討されている方の各種相談 などを行っています。

地域医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合 (医療機関)

外来診療の予約：診療依頼書をFAX送信して下さい
CT・MRI検査の申し込み：地域医療連携室へお電話下さい

地域医療連携室

FAX 042-491-2125 (8:30~17:15)
TEL 042-491-2934 (8:30~17:15)

交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅より無料シャトルバス運行中
- 西武新宿線 久米川駅北口より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車でお越しの際は正面よりお入り下さい。
(駐車場265台)

利用時間	料金		
平日日中 (7:00~20:00)	30分以内 無料	31分以上4時間まで 200円	以後1時間毎に 100円
平日夜間 (20:00~7:00)	30分以内 無料	31分以上2時間まで 200円	以後1時間毎に 100円
土日祝日 (0:00~24:00)	30分以内 無料	31分以上2時間まで 200円	以後1時間毎に 100円

WEB検索

東京病院

検索

